

伊万里市広報

一部五円 所 役 所
行 市 役 所
集 行 人 正 町 2839
編 集 行 正 町 10 番
山 口 大 話 71
伊 万 里 市 電 話
伊 万 里 市 電 話
印 刷 所 522 番
松 浦 印 刷

自主再建に決定

赤字解消は三ヶ年計画で

5月4日 全体協議会で決る

市の赤字解消、財政再建問題について、基本財産の処分を以て税源の完全把握は執行部、議会双方共鋭意これが打開策と市税の完全徴収に努め支出面中消費につき種々協議検討を続け、特に議会側 的経費を極力抑制し、名實共に健全策案に於ては去る四月十四日全体協議会の決 方針を以て望むことになつて居る。議に基き特別委員会を設け繼續審議中、 尙三公課課税を含む地方税法の改正と炭 炭あつたが、去る四月午後一時より全体協 議の好轉は本計畫を有利ならしむるもの 議を開催、満場一致を以て自主再建に 大なる期待がかけられて居り更にこ 決定した。即ち三ヶ年度赤字見込額六千 万円の解消策として、三十一年度より各 先決問題となることは言ひまでもない。 年度二千万円を解消向う三ヶ年に完全解 尙本案については五月末迄に議会を召集 消の意向で、先ず収入面に於ては増税並 し、その承認を受けることになつて居る。

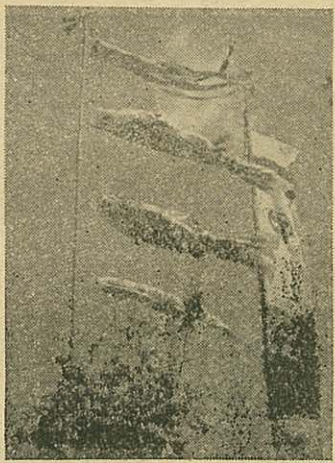
未来をにのう國の寶

子供に對する 認識を改めよう

五月五日は「務所及び市青少年問題協議 子供の日」である。各関係機関の協力を 得、同時に「世 得」の各項を計畫し本運 界子供の日」で 動を有意義且成果あらしめ もあり、政 府ではこれを機 一、児童憲章の普及徹底 一、子供クラブのレクレー ション大会実施 一、縣外新卒就職者への激 励文送 一、優良青少年の表彰 一、貧困児童に対する教具 類の無償配布 一、児童福祉優良部署推薦 一、身体障害児童並に未就 学児童等の調査 一、勤労青少年を囲む座談 会の開催 一、「母の日」のカーネー ション、ハンカチ配布

児童は人として尊ばれる 児童は社会の一員として 児童はよい環境の中で 育てられる 一、すべての児童は心 身ともに健やかに生 活を保障される 二、すべての児童は家 庭で正しい愛情と知識と 技術をもち育てられ 家庭に恵まれない児童は 適切に保護指導される

児童は人として尊ばれる 児童は社会の一員として 児童はよい環境の中で 育てられる 一、すべての児童は心 身ともに健やかに生 活を保障される 二、すべての児童は家 庭で正しい愛情と知識と 技術をもち育てられ 家庭に恵まれない児童は 適切に保護指導される



5月5日は子供の日

去る三月より「じやがい ようになり、次にそ ん、身障児童並に未就 学児童等の調査 一、勤労青少年を囲む座談 会の開催 一、「母の日」のカーネー ション、ハンカチ配布

伊万里市酪農組合成る

二十三日柳井町公民館で創立総会

町村合併後開催された経営の変化による有畜多角 乳牛品評会を契機として、 経営の必然化は一般の自覚 市内の乳牛飼育者が打つて 認識と相俟つて、年々増加 一丸となり、畜産界の振興 の一途を辿り、就中わが国 を図るため組合を結成しよ 乳業界の先駆者、森永翁出 うとの話に感銘をうけ、生 地の地として工場を身近か ていたが、その後有志の奔 走と教回に亘る委員会を重 待つべきものがあるといえ ね、昨年八月には母子会館 に於ける総起大会開催の 運びとなり、尙その後より 第一段階として任意組合の 形式ではあるが、近々法人 組織に切替る計畫であり 組合員の熱意と努力は必ず や所期の成果を挙げるもの と大いに期待されている。 即ち今や市内における乳牛 飼育戸数は三十七戸、飼育 頭数は四百頭を越え、農業 (職 題)

ホ、ツキも勝手にならぬ

なす科作物の移動取締について

農林水産課

去る三月より「じやがい ようになり、次にそ ん、身障児童並に未就 学児童等の調査 一、勤労青少年を囲む座談 会の開催 一、「母の日」のカーネー ション、ハンカチ配布

地建法對策に

特別委員会発足

自主再建か地建法適用か 五月末迄には決定を迫られ ている市当局では鋭意これ が研究對策に萬全の措置を 講じているが、こと新市の 將來に明暗を投ずる一大問 題だけに、議会側でも歩調 を揃へ慎重審議すべく、さ きに開かれた全体協議会の 決議に基き、三十一日午後 一時より特別委員会を開催 對策を練ることになつた。 武藤議長司令の下に正副委 員長を選任(委員長に前田 議員、副委員長に牧瀬祐謙 議員)次で三役の出席を 求め事情を聴取、次の開会 を二十六日に決定、午後三 時半閉会した。

尙本委員会の委員は次の十 二名である。

副島元市、江頭順二、前 田松一、西山実、田子森 勇、立石長七、立石松市 、高添門司、楠田福義、 草場七雄、牧瀬祐謙、大 塚正人

伊万里市果樹振興協議会発足

会長には丸田氏(大川町)就任

戦後伊万里市に伊万里市果樹振興協議会を 於ける果樹の伸展 結成発足することになつた は目覚しく、現在 即ち四月十二日午前十時よ の栽培面積は四〇〇 町代表者二十五名が集り、 高は梨三〇万貫、 従来の園藝振興協議会を 果実部会を發展的に解消し 果樹栽培論及び各論、農 業經營及び農政の各汎に亘 り、尙管理、製枝剪定、接 木等の実習も併科されるこ とになつて居り募集要綱に ついては追つて公表される ことになつて居る。

今回市内各町のこ 次で技術員設置、市有林私 果樹栽培論及び各論、農 業經營及び農政の各汎に亘 り、尙管理、製枝剪定、接 木等の実習も併科されるこ とになつて居り募集要綱に ついては追つて公表される ことになつて居る。

伊万里の町

映画になる 【伊万里の町】 伊万里公民館担当

完成は十一月末の予定…… 去る二月二十一日午後四 製造過程を始め、無形文化 十五分より三十分間「日 財「銭太鼓浮立」情緒豊か 本町のテーマで、わが伊 伊万里市がN市より全国 利門通寺、縣立公園竹の古 に放送されたことは既報の 通りであるが、玄海の怒濤 ショーン」喧嘩祭に波多津 の去れて、いはば、七つ の女相撲も一役買ひ、畫面 を島に閉まれ、数多くの物 撮影開始は既に始められて 静かな水郷の町、伊万里… 然も昭和二十九年四月臨海 工業都市として遠大な構想 の下に発足したわが新市、 伊万里を遍く江湖に紹介す るため、今回これが映畫化 を計畫、映畫時間三十分、 総天然色の豪華版として製 作することになつた。

伊万里の歌

禁止又は制限	作物名	制限の内容
移動制限	① 馬鈴薯の塊薯 ② とうがらし(ピーマンを 含む)の苗	植物防疫官(又は検査補助員)の檢 査に合格したものでなければ移動で きない
移動禁止	右以外のなす科作物 は、いづき、花なす	移動は一切禁止
制限禁止され	たばこの乾葉	移動は自由

① 組合規約承認の件
② 昭和三十一年度経費の徴 收額及び時期、方法決定 の件
③ 昭和三十一年度事業計畫 並收支予算案決定の件
④ 役員選任について
(選出された役員)
大川内町 前田安次、前田 孟太郎
大坪町 立川虎雄、力武源 次、古川佐一郎
伊万里町 犬塚 勝 波多津町 塚部伊平 南波多町 松本庄平、山口 作治、藤田榮
松浦町 原 忠
大川町 松田家司
東山代町 古賀政吉
二里町 力武末次、西田竹 一
山代町 山口淺二

の他の事由により移動(他市町村へ移動)しよう とするときは、検査申請 書を植物防疫官(農林水 産課)に提出する
② 検査の結果合格したもの に対しては検査証票(苗 類二号証票、馬鈴薯及び 生果実一号証票)が交付 される
③ 移動許可証票は当日限り で無効となるので、移動 予定日に移動しなかつた 場合は改めて検査申請を し検査をうけねばならな い
④ 検査をうける場合は検査 をうけ易いように包装し 指定された検査場所に受 検物品を搬入し、検査に 当つては申請者又は代理 人の立会を要する

寄附金 一、金壹万円也
内 訳 遺族会……三、〇〇〇円 傷災軍人会……三、〇〇〇円 法外援護……四、〇〇〇円 伊万里町甲八二番地 大塚秀治殿より 母堂ハッ殿死亡による香 典返しとして市福祉事務所 に寄附

三、移動取締りの方法
① 植物防疫官は監視員(各 町に一名)を指揮監督し 発生地域の警察、交通、 輸送機関の協力を得て常 時取締りを実施する外期 日をもって一斉取締りを 実施する
② 違反者には警告を發し協 力しないときは移動禁止 尙止むを得ないときは罰 則が適用される

引揚促進運動基金に御協力下さい
海外抑留同胞救出国民運 動佐賀縣本部では今引揚 促進運動基金の募集運動 と努力を傾け、早急引揚 促進し、特に婦人會員の 進歩を圖つて居ります。 各御 理解ある御協力を懇 請致して居ります。職後 千秋の思いに日々を過す抑 進まぬ日々交渉のさなか、 留同胞と尙その留守家族の 然も御存じの通り逼迫せる 縣財政の現状からは助成の 途もたぐちでありませ

この歌は去る一月の放送 記念にN市から贈られた もので、松坂直美氏の作で ある。尙本市では目下その 發表会を計畫中である。

一黒ダイヤ 幸も豊かに 松浦富士 黒髪山や みどり濃き 七ツ島々 朝夕に 眺めて樂し 榮えゆくわらの伊万里 二歌聲は 今日ものどかに 秋祭りトテンテンヤ 銭太鼓 離子の音に 黄金なす稻穂はゆらぐ 夢の里 わらの伊万里 三月も彩な 色鍋島は 今もなお 郷土の誇り 橋のゆかりも 古く 野に山にみかんはかおる 美わしきわらの伊万里

漁業協同組合 近く合併?
山代、伊万里、奥川三地 区漁業協同組合の合併につ いては既報の通り役員を選 任、機運よく協議中である。 六日柳井町公民館に於て 重ねて協議会を開催、早急 合併を期することとなつた 即ち当日召集関係者に於て 事業計畫書並に予算案等具 体的案件については協議した 該案によれば本所は漁港に 置く前提の下に当分市役所 にて執務、山代、奥川両町 には支所を設け、尙役員と しては理事十名、監事三名 が選ばれることになつて居 る。別に總代制を置くこと も考慮されている。

只今「簡易保險増強運動 展開中

0062

